

# 県立 27㊦一部開園!!

## さがみさんせん 相模三川公園

●**上郷地区にオープン**  
市の西側を沿々と流れる相模川の魅力ある河川環境を保全しながら、水と緑、人、地域文化とのふれあいをテーマとした「相模三川公園」が27日(土)、一部開園します。

海老名駅から徒歩約20分、相模川、中津川、小鮎川の合流地点近くの上郷地区に、計画面積約24・4haで整備が進む公園は、県立都市公園としては23番目、市内では初めての県立公園となります。

●**春には、お花見。**  
今回の一部開園では、大型コンビネーション遊具が設置され、ボールも楽しめるふれあい広場、大山や丹沢の山並みが望める夕焼けの丘、環境共生型の「パークセンター」、桜並木が美しい「鳩川遊歩道」などの施設、約3・1haが市民に開放されます。

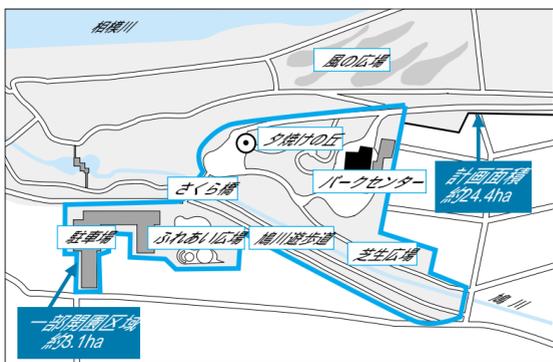
また、ふれあい広場や夕焼けの丘を結ぶさくら橋の名前は、地元の有鹿小学校3・4年生から募集した名称の中から選ばれました。橋近くにある桜並木、春にはお花見の名所としてたくさんの方が桜を楽しむことから名付けられました。

●**街のオアシス**  
公園からは、悠々と流れる相模川と大きく広がる青空が見渡せ、鳥や虫の声を傾けたり、川からの風が吹かされてのびのびと体を動かせるのがこの公園の魅力です。子どもたちが楽しめる遊具や水遊びのできる噴水、のんびりする芝生広場などの施設も充実、親子で楽しめる公園です。ぜひ一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。

### ●家族で楽しめる三川公園



「ふれあい広場」に設置された大型コンビネーション遊具に集まる「笑顔」の子どもたち



### 問い合わせ

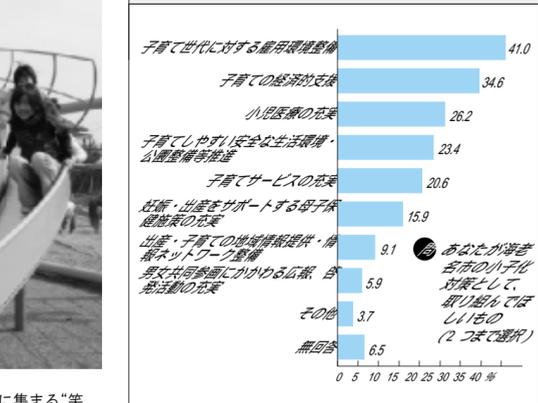
厚木土木事務所道路都市部  
公園課(☎223・1711)  
※式典等については、海老名市役所公園緑地課(内62) 雨天の場合一部式典のみ実施します。

### ●開園記念式典

相模三川公園の一部開園にともない、記念式典が行われます。  
日時 3月27日(土)午前10時～  
会場 相模三川公園パークセンター  
当日は、海西中学校フラスバンド部による演奏のなか、園名除幕や記念植樹などの式典が行われ、くす玉割りもお祝いします。また、スライムや鉢物の直売、上郷・河原口・下郷泉のはやし連によるお囃子、上郷地区の子ども会による豚汁サービスなどがあります。  
なお、当日は公園周辺の渋滞・混雑が予想されますので、車の来園は、ご遠慮ください。



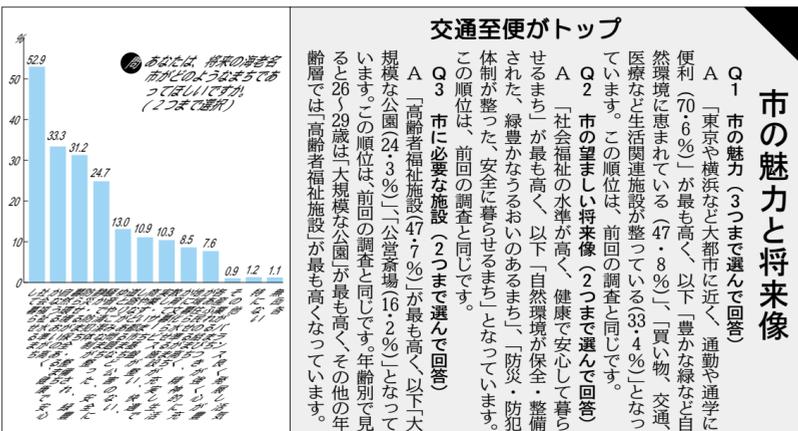
●**子育て支援充実が必要**  
Q1 少子化対策としての取り組み(2つまで選んで回答)  
A 市が少子化対策として取り組みたいことは、「子育て世代に対する雇用環境の整備が最も高く、以下子育ての経済的支援」「小児医療の充実の順になっています。性別で見ると、男女とも1・2位は前記の順と同じで、年齢別では、20～25歳は「子育て世代に対する雇用環境の整備」と「妊娠・出産をサポートする母子保健施策の充実」が同数で最も高く、26～39歳は「子育ての経済的支援」が最も高くなっています。



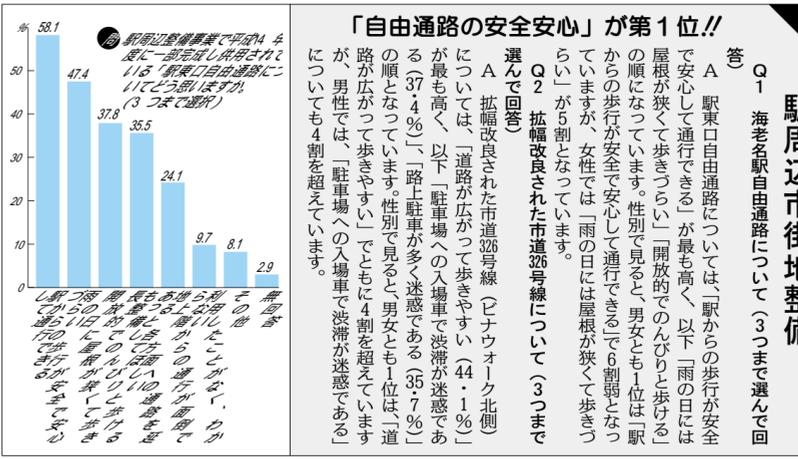
●**ごみ削減がポイント**  
Q1 ごみ削減に必要な今後の施策(2つまで選んで回答)  
A 市では、平成23年度までに「ごみ50%削減」を達成するため、資源の分別回収などを実施していますが、今後どのような施策が必要か調査したところ「回収する資源の種類を増やして資源化、減量化を進めるべき」と思う「が最も高く、以下「燃えるごみの収集を減らす」「紙や容器包装プラスチックなどの資源回収の日を増やす」「生ごみ処理機を家庭や事業所へ普及促進させる」となっています。性別で見ると、男女とも1位～3位までの内容は前記と一緒です。



# こう思う こう望む 住みたい住み続けたい 海老名



## 20歳以上2000人対象(回収率63・7%)



去年8月に実施した市民意識調査の集計結果が、この調査は2年に1度、市民のみならずが市政に対してどのような関心を持っているかを把握し、市の各種施策・事業に反映させるために実施しています。調査対象は、無作為に抽出した市内在住20歳以上の市民2,000人で、郵送による依頼・回答をお願いしました。その結果、1,274人から回答をいただき、回答率は63・7%でした。  
調査は、市を10地域に区分して実施。分析は、地域区分別、性別などで行っています。回答者数を性別で見ると、男性47・0%、女性52・1%(不明0・9%)。年齢別では、20歳代(13・5%)、30歳代(17・7%)、40歳代(15・6%)、50歳代(23・7%)、60～64歳(12・5%)、65～74歳(13・7%)、75歳以上(2・6%)、不明(0・7%)となっています。  
この調査結果の概要をお知らせします。

●**市政への関心、広報、情報化**  
Q1 市政について知りたいこと(5つまで選んで回答)  
A 市政への関心については、予算・計画といった市政運営面と、医療・福祉政策など生活に密着した面の方に関心が高くなっています。また、新制度・手続き方法、地震や水害等の防災対策なども多くなっています。  
Q2 市政に関する情報源(3つまで選んで回答)  
A 「広報えびな」と「自治会回覧」が2大情報源となっており、9割を超える人が、広報から市政に関する情報を得ています。また、前回の調査に比べて「市ホームページ(46・9%)」が増え、逆に「新聞(26・0%)」「24」は減っています。  
Q3 インターネットの利用および利用機器(1つだけ選んで回答)  
A インターネットを利用している人は、49・9%と前回調査時よりも9ポイント増となっており、利用が一般的になってきたことがうかがえます。利用率は、男性56・3%、女性44・4%で、年齢別では、男性は65歳未満、女性は50歳未満の方の利用率が高くなっています。  
また、インターネットを利用する際の機器については「パソコン」が89・6%と高く、「携帯電話またはPHS」が9・9%となっています。

## 市民意識調査 結果まとまる

問い合わせ  
広報広聴課(内274)

- 13の分野で33の設問**  
市民意識調査は、前回(平成13年度実施)と同様に市職員による作業部会を組織して実施されました。環境保全「ごみの削減」「駅周辺市街地整備」といったテーマを新たに加えるなど、調査項目の決定から集計分析、結果報告書作成まで、すべて手作りで行われました。
- 調査項目**
- ① 定住性・生活環境
  - ② 市政への関心、広報、情報化
  - ③ 市の魅力と将来像
  - ④ 環境保全
  - ⑤ ごみの削減
  - ⑥ 予防保健
  - ⑦ 少子化対策
  - ⑧ 地域福祉
  - ⑨ 駅周辺市街地整備
  - ⑩ 市議会
  - ⑪ 学校教育
  - ⑫ 生涯学習
  - ⑬ 文化財